



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

# 静臨技ニュース

第385号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207  
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113  
発行者／大石 和伸 編集責任者／高林 保行 発行日／2022年4月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

## 4月号の内容



- ◆ 中部圏支部医学検査学会について ..... 1
- ◆ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について ..... 2
- ◆ 会員投稿 ..... 3
- ◆ 研修会終了報告 ..... 4~10
- ◆ 臨床検査関連研修会・講習会 ..... 11
- ◆ 行事予定 ..... 12
- ◆ 会員の異動 ..... 13

## 中部圏支部医学検査学会について

中部圏支部医学検査学会開催まで、半年を切りいよいよとなってまいりました。ホームページも学会開催にむけて着々と進んでおります。演題登録など会員の皆さまのご協力を宜しくお願ひします。

令和4年度 日臨技 中部圏支部医学検査学会 (第60回)  
**Go to the NEXT ONE!**  
～ふじのくにに集い 今と未来を考える～  
2022 10/8±9日 会場 静岡県総合コンベンション施設 プラサヴェルデ(静岡県沼津市)

お知らせ  
第60回のWebサイトを公開しました。  
十分な感染対策を実施しながら記念すべき第60回の開催を目指します。  
新型コロナウイルス感染対策について  
新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、募集内容や開催内容が大きく変更となる場合があります。

更新情報  
2022.03.28  
開催概要を公開しました。  
1年延期をしての開催となりますが、よりよい学会となるようご協力をお願いいたします。  
2022.03.28  
ご挨拶を公開しました。

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

新型コロナウイルス感染症の第6波を受けて、会員の皆様は大変な思いをされていたと思います。また、まん延防止重点措置も全国的に解除され、「静臨技ニュース」がお手元に届いた今は、どのような状況になっているか目まぐるしく変化するコロナ禍を想像することも難しく思っています。

「医療提供体制に関する財政支援措置の延長について」

### 医療提供体制に関する財政支援措置の延長について

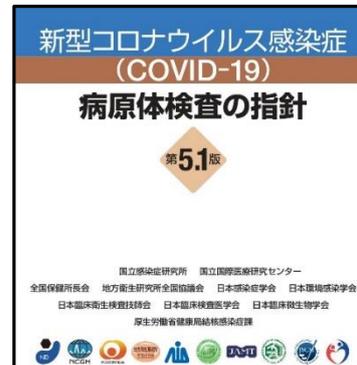
#### 財政支援の延長

- ・ 現行、**3月末**又は**重点措置期間**が期限とされている財政支援措置について、以下のとおり延長。

財政支援措置の延長	措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
	診療・検査医療機関が公表されている場合の診療報酬加算（300点⇒550点）	3月末	全国	7月末まで
	高齢者施設等に看護職員を派遣した場合の8280円/時間の補助	重点措置期間	全国	7月末まで
	転入院支援のための確保病床への緊急支援（450万円/床）	重点措置期間	全国	7月末まで
経過措置の延長	措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
	外部委託する場合のPCR検査料（診療報酬点数）の経過措置（1350点） ※感染状況等を踏まえ、4月から700点の予定	3月末	全国	6月末まで850点
重点措置地域の支援措置に関する経過措置	措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
	施設内療養を行う施設への補助の拡充（最大15万円⇒30万円）	重点措置期間	重点措置地域	4月末まで （現重点措置対象18県）
	電話等初再診の診療報酬の追加的対応（250点⇒500点）	重点措置期間	重点措置地域	4月末まで （現重点措置対象18県）
	救急受入のための確保病床への緊急支援（450万円/床）	重点措置期間	重点措置地域 （東京都及び政令市）	4月末まで （現重点措置地域の東京都及び政令市）

（2022年3月16日厚生省資料）

静臨技ホームページへ「病原体検査の指針 5.1 版」を掲載しております。「お知らせ」もしくは新型コロナに関する情報からご確認下さい。



メールアドレス登録をお願いします。

静臨技ニュースは現在、紙面版とホームページで Web 版を発行しております。印刷費用の削減と最新情報を皆様のお手元にお届けすることが可能となる Web 版のメール配信運用を今後は主流と考えております。メール配信運用に向けて会員様への調査や大切なメールを送りますので、必ず受け取ることが出来るメールアドレスの登録をお願いいたします。部署共通のアドレスやキャリアメール（携帯メール）以外のメールアドレスでの登録をお願いいたします。

## 私の推し

匿名希望

私はジャニーズの「SixTONES」というグループを推しています。

高地優吾、京本大我、田中樹、松村北斗、ジェシー、森本慎太郎の6人組です。好きになったきっかけは全員が同じ振り付けをするパートなのに、アレンジしすぎてそれぞれが違う振り付けを踊っているように見えるという動画をSNSで見て、なんだこの自由な人達は変なのと最初は思いました。それから気になりだしてYouTubeで他のMVや楽しく皆でわいわいしている動画を見ているうちにハマってしまいました。

SixTONESはキラキラ王道ジャニーズというよりは、ワイルドでギラギラしたグループなので、見た目から少し敬遠されることもあるのですが、6人とも真面目で礼儀正しく優しい人が集まったグループです。SixTONESは全員歌が上手いグループでもあります。

ジャニーズで初めてTHE FIRST TAKEに参加しました。見たことが無い方は是非YouTubeで見てみて下さい。きっと感動すると思います。

私は今までこれといってアイドルやアーティストにハマったことが無かったので、まさか自分がジャニーズにのめりこむとは思っていませんでした。でも推しができたことで、毎日何かしら楽しみがあるし、楽しみがあるから大変な仕事も乗り越えて頑張ろうと思えるようになりました。

6人はそれぞれ色んな所で活躍しています。ドラマ、映画、バラエティー、ミュージカルモデル、声優などきっとどこかで見かけたことがあると思います。喋りも上手でとても面白いグループなので、気になった方は是非YouTubeやインスタグラムを見てみて下さい。



## 研修会終了報告

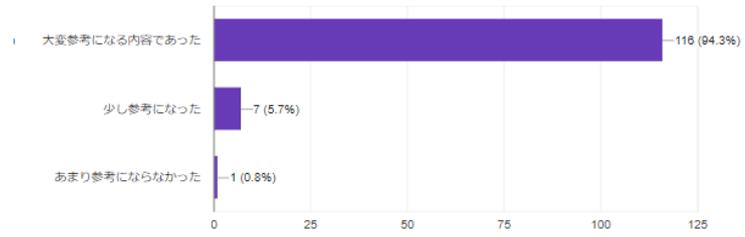
事業名	令和3年度 第3回 臨床生理部門研修会
開催日	2022年1月29日(土) 14:30~16:15
会場	Web会場 (Cisco Webex)
参加人数	95人
内容	<p>【テーマ】甲状腺・乳腺エコーをレベルアップしよう</p> <p>今回は、「臨床に伝わるレポートを書こう」をテーマにお二人の講師の方による Web 型研修会を開催しました。</p> <p>第1講演の甲状腺エコーでは、静岡県立こども病院の藤下先生より中級者向けの内容として微小乳頭癌のアクティブサーベイランス、甲状腺の発達と機能低下、機能性病変、結節性病変の評価、細胞診、レポートについて講義していただきました。</p> <p>第2講演の乳腺エコーでは、静岡県立静岡がんセンターの杉山先生から基本の乳癌検査方法、病変の広がりにつてのレポート記載、エコー画像を用いての超音波検査での乳癌組織型を推定する場合の判定ポイント、サブタイプ別の超音波所見と組織型について講義していただきました。また、新型コロナワクチン接種によるリンパ節腫大についてどのように報告されているかのお話もありました。</p> <p>2講演とも臨床に伝わるレポートを書くためのポイントを分かりやすく講演していただきました。</p> <p>アンケートでは、研修時間はちょうど良い、内容もとても良い・良いの回答を多くの方からいただきました。</p> <p>次回取り上げてほしいエコー内容は、消化器 30 件、循環器 22 件、血管 15 件、体表 13 件、婦人科 5 件でした。</p> <p>ご意見・感想では、画像が多く要点がまとまっておわかりやすかった、資料の提供がありよかった、多くの症例を紹介する研修会を開催して頂きたいとの要望をいただきました。</p> <p>皆様からの回答は今後の研修会の参考とさせていただきます。</p> <p>今回も大きなトラブルはなく無事に研修会を終えることができました。</p>

## 研修会終了報告

事業名	第 21 回静岡血液フォーラム																								
開催日	2022 年 2 月 6 日（日） 10：00～17：00																								
会 場	Web 会場（Cisco Webex）																								
参加人数	134 名																								
内容	<p><b>【テーマ】血液担当技師としてのレベルアップを図ろう！</b></p> <p>昨年度は集合型研修会を見送り録画配信の Web 開催となり、今年度も当初“集合型”を想定した準備を進めていましたが、オミクロン株の第 6 波襲来により残念ながら Web 開催の形となりました。昨年度は講演を発信するのみの研修会であったものが、今回は Web 配信ではありましたが受付できる参加者も増え、血液検査の最前線でご活躍中の講師陣にお願いとご協力を仰いで、講演の合間で質疑への回答もいただくなど、従来の”血液フォーラム“を踏襲した形で、県内はもちろん全国の 130 名以上の皆さんと繋がって『第 21 回静岡血液フォーラム』を開催することができました。</p> <p>今回はテーマを『血液担当技師としてのレベルアップを図ろう！』として、末梢血データの一步進んだ見方・考え方を始め、コロナ関連のデータや血栓症、形態学から迫る末梢血・骨髄について、多くの写真や実際の顕微鏡画像を提示しながらの説明も交え、わかりやすく解説いただきました。患者データに 1 番最初に触れる臨床検査技師として、細胞形態から疾患推定のできる血液技師として、今後の業務に役立つ実例も含めた盛り沢山で内容の濃いフォーラムとなりました。</p> <p><b>【アンケート集計結果】</b></p> <p>第1講演の内容について 122 件の回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になる内容であった</td> <td>117</td> <td>95.9%</td> </tr> <tr> <td>少し参考になった</td> <td>5</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>1</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2講演の内容について 122 件の回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になる内容であった</td> <td>93</td> <td>76.2%</td> </tr> <tr> <td>少し参考になった</td> <td>28</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>2</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	件数	割合	大変参考になる内容であった	117	95.9%	少し参考になった	5	4.1%	あまり参考にならなかった	1	0.8%	回答内容	件数	割合	大変参考になる内容であった	93	76.2%	少し参考になった	28	23%	あまり参考にならなかった	2	1.6%
回答内容	件数	割合																							
大変参考になる内容であった	117	95.9%																							
少し参考になった	5	4.1%																							
あまり参考にならなかった	1	0.8%																							
回答内容	件数	割合																							
大変参考になる内容であった	93	76.2%																							
少し参考になった	28	23%																							
あまり参考にならなかった	2	1.6%																							

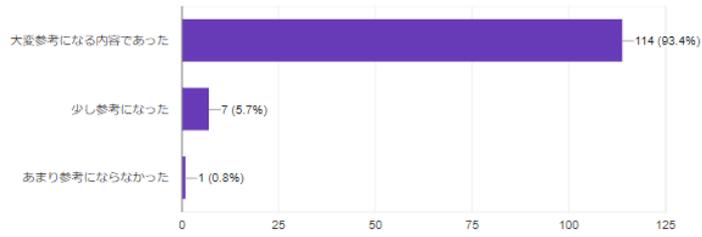
### 第3講演の内容について

123 件の回答



### 第4講演の内容について

122 件の回答



## 研修会終了報告

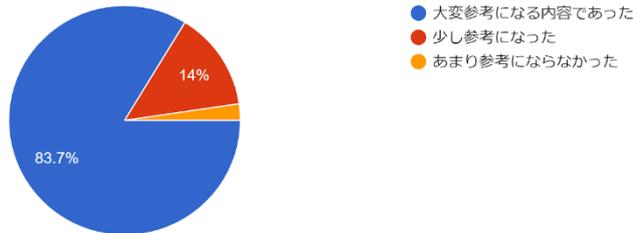
事業名	令和3年度 第2回 臨床微生物部門研修会
開催日	2022年2月11日(金) 14:00 ~16:30
会場	Web会場(Cisco Webex)
参加人数	39人
内容	<p><b>【テーマ】微生物検査の基礎知識 Part II</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【研究報告】</b> 「入院予定当日におけるコロナウイルス抗原定量検査実施への検査体制構築」</p> <p><b>【ベーシックレクチャー】</b> 「試験管培地の接種と同定のポイント」</p> <p><b>【特別講演】</b> 「薬剤感受性試験を臨床でどのように活かすのか!?!-抗菌薬選択の実際-」</p> </div> <p><b>【研修会内容】</b> 今回も Web 型研修会での開催となり、新型コロナウイルス感染状況における抗原定量検査の構築、試験管培地の基礎知識、日ごろの薬剤感受性検査の結果の活かし方について微生物検査の日常検査に役立つ内容で研修会を開催しました。</p> <p><u>研究報告</u> 新型コロナウイルス感染の第6波が拡がる中、どの施設においても検査体制は苦慮されており、新型コロナウイルス抗原定量検査はスクリーニング検査として、多検体を迅速に報告することが可能であるが、分析装置の購入、スタッフの感染対策、検査対象の範囲、判定保留時の対応等の課題が挙げられる。今回、院内の検査体制を中心にルミパルスの使用経験を含め検査体制の構築に関する発表内容であった。</p> <p>事務受付や検体採取場所の見直し、陰圧検査室の構築など施設で色々と工夫されており、報告時間は受付から2時間程度と迅速な体制を整えられていた。また、PPEの着脱方法の教育を若い検査技師(リンクスタッフ)が行うことにより、新型コロナウイルス検査は検査技師全員で協力するといった事が検査科内で意識づけされており、他施設においても参考となる取り組みであった。唾液検体による抗原定量検査は前処理に時間を要し、再検の頻度も高いことから鼻咽頭ぬぐい液にシフトされていたため、抗原定量検査で運用されている施設にとっては、今後の検査体制に参考となる有意義な内容であった。</p> <p><u>ベーシックレクチャー</u> 試験管培地を用いた腸内細菌目細菌の同定にあたり、培地の組成および反応を化学的に理解し、判定に苦慮するポイントを把握できた研修であった。基礎的な培地の成分や反応原理以外にも培地に接種する順番や、接種菌量、判定に苦慮した時の考え方など、豊富な写真による説明で分かりやすい内容であった。</p> <p><u>特別講演</u> 薬剤師の立場から実際に薬剤感受性検査をどのように活用しているかの講演内容であった。抗菌薬の選択時やAST活動の上でキーパーソンは検査技師であり、検体採取から検査技師が関わる事で適切な判断に繋がるため、血液培養複数セットの実施や適切な検体採取に検査技師が積極的に関わって欲しいとの事であった。また、正確な同定や薬剤感</p>

受性検査結果だけでなく感染臓器や起因菌を推定する上で、検査室からの菌種コメントは非常に重要な情報であるとの事であった。抗菌薬に苦手意識をもつ検査技師が多いが、まずは系統別に特徴を把握し、開発目的や抗緑膿菌作用、臓器移行性等を整理する事が大切との事であった。抗菌薬の適正使用も含め感染症治療には検査技師も重要な立場であるため、他職種とコミュニケーションを取りつつ抗菌薬の知識を深めていくことが今後の課題と思われた。

## 【アンケート調査結果】

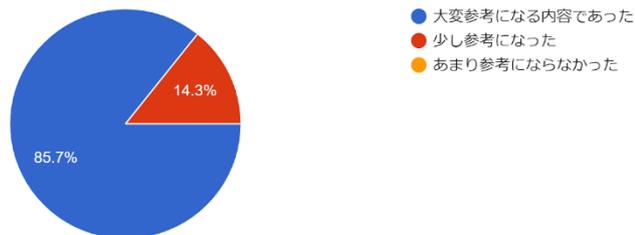
### 研究報告

講演内容について  
43件の回答



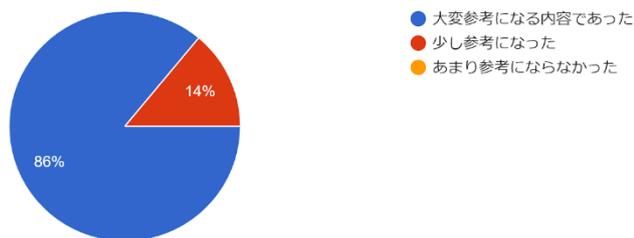
### ベーシックレクチャー

講演内容について  
42件の回答

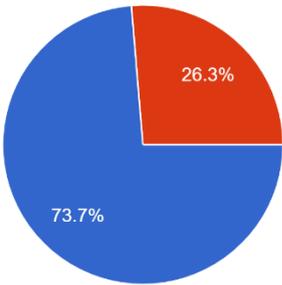
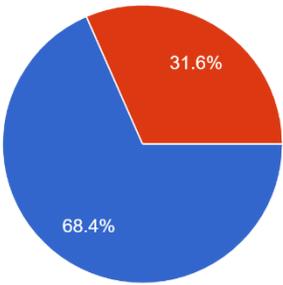


### 特別講演

講演内容について  
43件の回答



# 研修会終了報告

事業名	令和3年度 第2回生物化学分析部門研修会																				
開催日	2022年2月19日(土) 13:30 ~14:45																				
会場	Web会場 (Cisco Webex)																				
参加人数	32人																				
内容	<p>【テーマ】検体検査の品質保証と精度管理</p> <p>検査結果の品質を保証するために必要な検査前、検査、検査後プロセスの精度管理について、基本的な考え方から方法まで含め詳細に解説していただいた。</p> <p>検体検査の精度・品質に係る医療法等の改正では精度管理は努力義務となっているが、多くの施設が自施設の運用に合わせて実施することが望まれる。研修会では実際の考え方も学べたため、参加していただいた方にはぜひ参考にしていただきたい。</p> <p>●アンケートの結果</p> <p>1. 研修会に関する理解度</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解できた</td> <td>73.7%</td> </tr> <tr> <td>少し理解できた</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 研修会の内容</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容の有用性</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役に立つ内容だった</td> <td>68.4%</td> </tr> <tr> <td>少し役に立つ内容だった</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり役に立たない内容だった</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>役に立たない内容だった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	理解できた	73.7%	少し理解できた	26.3%	あまり理解できなかった	0%	理解できなかった	0%	内容の有用性	割合	役に立つ内容だった	68.4%	少し役に立つ内容だった	31.6%	あまり役に立たない内容だった	0%	役に立たない内容だった	0%
理解度	割合																				
理解できた	73.7%																				
少し理解できた	26.3%																				
あまり理解できなかった	0%																				
理解できなかった	0%																				
内容の有用性	割合																				
役に立つ内容だった	68.4%																				
少し役に立つ内容だった	31.6%																				
あまり役に立たない内容だった	0%																				
役に立たない内容だった	0%																				

## 研修会終了報告

事業名	令和3年度 第2回 病理細胞部門 Web型研修会																																				
開催日	2022年2月27日（日）14:00～16:30																																				
会場	Web会場（Cisco Webex）																																				
参加人数	60人																																				
内容	<p>【テーマ】病理発！そこが知りたい！—「わからない」を「わかる」へ—</p> <p>➤ 講演1：統計処理の極意 第2回～相関と回帰、判別特性～</p> <p>シリーズ第2弾、今回のテーマは～相関と回帰、判別特性～でした。 講演の中にはExcelを用いた統計処理を体験できるよう演習が組み込まれており、中村先生の実演を参加者が見て・聴いて・体験しました。 「自分でも統計処理ができそう」「統計処理の意味を理解して日常業務の中でも役立てたい」という声が多く聞かれました。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>講演1の満足度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変満足</td> <td>17</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>35</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>9</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>やや不満足</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満足</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>➤ 講演2：病理解剖介助の実際</p> <p>五十嵐先生の豊富な解剖経験をもとに写真や図を用いて1つ1つの手技を大変丁寧にご講演いただきました。 自分達の解剖介助の場面を重ね合わせながら手技の再認識ができただけでなく、ちょっとしたコツも教えていただいたことで、今後の解剖介助に役立つ新たな情報をインプットすることができました。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>講演2の満足度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変満足</td> <td>26</td> <td>43.3%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>28</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>5</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>やや不満足</td> <td>1</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>不満足</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>皆さまからのアンケート回答を、今後の研修会の企画・運営の参考とさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>	満足度	人数	割合	大変満足	17	28.3%	満足	35	58.3%	普通	9	15%	やや不満足	0	0%	不満足	0	0%	満足度	人数	割合	大変満足	26	43.3%	満足	28	46.7%	普通	5	8.3%	やや不満足	1	1.7%	不満足	0	0%
満足度	人数	割合																																			
大変満足	17	28.3%																																			
満足	35	58.3%																																			
普通	9	15%																																			
やや不満足	0	0%																																			
不満足	0	0%																																			
満足度	人数	割合																																			
大変満足	26	43.3%																																			
満足	28	46.7%																																			
普通	5	8.3%																																			
やや不満足	1	1.7%																																			
不満足	0	0%																																			

## 臨床検査関連研修会・講習会

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 静岡県開催のお知らせ

日 程	令和 4 年 4 月 24 日 (日) 受付時間：10：00～10：30 開始時間：10：30～18：30
会 場	プラサヴェルデ 401・402・407 会議室 ( 静岡県沼津市大手町 1-1-4 TEL：055-920-4100 )
申込期間	令和 4 年 3 月 24 日 (木) ～令和 4 年 4 月 14 日 (木) ※基礎講習を履修することで実技講習への参加申込が可能となります
入金期間	令和 4 年 3 月 24 日 (木) ～令和 4 年 4 月 14 日 (木) ※支払選択における払込票の選択期限は開催 20 日前となります。

日 程	令和 4 年 5 月 8 日 (日) 受付時間：10：00～10：30 開始時間：10：30～18：30
会 場	静岡県産業経済会館 第 1 会議室・大会議室・特別会議室 ( 静岡県静岡市葵区追手町 44-1 TEL：054-273-4330 )
申込期間	令和 4 年 4 月 8 日 (金) ～令和 4 年 4 月 28 日 (木) ※基礎講習を履修することで実技講習への参加申込が可能となります
入金期間	令和 4 年 4 月 8 日 (金) ～令和 4 年 4 月 28 日 (木) ※支払選択における払込票の選択期限は開催 20 日前となります。

日 程	令和 4 年 5 月 22 日 (日) 受付時間：09：30～10：00 開始時間：10：00～18：00
会 場	静岡医療科学専門学校 2 号館 A 棟 ( 浜松市浜北区平口 2000 TEL：053-585-1551 )
申込期間	令和 4 年 4 月 22 日 (金) ～令和 4 年 5 月 12 日 (木) ※基礎講習を履修することで実技講習への参加申込が可能となります
入金期間	令和 4 年 4 月 22 日 (金) ～令和 4 年 5 月 12 日 (木) ※支払選択における払込票の選択期限は開催 20 日前となります。

- 【募集人員】 各会場 60 名まで
- 【受講料】 会 員 15,000 円 / 非会員 40,000 円 (資料代含む)
- 【申込方法】 日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」から申し込みください。
- 【その他】 詳細は、日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」および  
静岡臨技ホームページの「お知らせ」をご確認ください。
- 【問合せ先】 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当  
TEL: 03-5767-5541 (直通) E-mail : task-shift2@jamt.or.

## 2022年 4月・5月・6月の行事予定

2022年

4月

6日(水)	令和4年度第1回 静岡県臨床検査精度管理委員会	: Web開催
9日(土)	令和4年度第1回 学術部門長会議	: Web開催
24日(日)	タスク・シフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会	: 沼津市会場
30日(土)	令和4年度第1回 理事会	: Web開催

5月

8日(日)	タスク・シフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会	: 静岡市会場
22日(日)	タスク・シフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会	: 浜松市会場
未定	令和4年度第2回 理事会	: 未定

6月

11日(土)	令和4年度 定時総会	: Web開催
--------	------------	---------

### ☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高林保行まで。E-mail: kensa2.ken@shizuokakouseiren.jp

本報（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

### ☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒425-8505 焼津市道原 1000 焼津市立総合病院 松浦裕まで。

E-mail: osigoto@samt.or.jp

TEL: 054-623-3111